

2年生の総合的な探究の時間では、昨年度より企業課題探究の一環として協働企業さまのご厚意で、校外学習を実施しています。

今回は、株式会社石橋製作所様と株式会社ホームランシステムズ様へ訪問させていただいた様子をお届けします！



株式会社石橋製作所様には、「北九州市の強みを活用して、産業に活気を取り戻すには？」というテーマをいただいている生徒たちが、会社を訪問し、社会人講師の松崎様のご指導の下、工場見学を実施しました。



ヘルメット、保護メガネ、フットプロテクターを装備して、安全対策をしています。普段なかなか身につけることのない備品に、生徒のテンションが上がっています。



まずは石橋製作所様の代表的な製品であるギアの製造工程の見学です。
レーザークラッティング（積層）の実験をしている「イシバシクロスクリエーションハブ」
という他団体企業や学校との共創のスペースを見学させていただきました。



「素材を削って必要な形にしています。削る前に精緻な仕上がりを目指すための設計・プログラムを実施しています」と松崎様。
細かい溝やなめらかな断面が削り出されていることに、生徒たちも感心しています。



削り出す前の素材が保管されています。

「発電機の部品をつくっている」という説明から想像していたものよりも大きな素材の塊を見て、イメージを膨らませています。



ギアの最終仕上げ工程の設備を見学しています。

「切削油を使っているので足下も注意してくださいね!」と松崎様。
工場内の安全対策についても知ることができました。



出荷前の組立工程を見せていただきました。

「最後の組立工程前にもキズやヒビなどがいないか綿密な検査を実施したうえで、問題がないことを確認し、組立の工程をおこないます」と教えていただきました。



「この一つひとつが風力発電機の中に入っている部品だと知り、『これが使われる風力発電機って大きいな』と思わされますね」と生徒たち。

「実は、このサイズは風力発電機の増速機（ギア）の中では決して大きくないですよ！」と松崎様。

写真や映像からでは想像がつかなかったスケール感に圧倒されます。

株式会社石橋製作所様は日本で唯一、国と提携した洋上風力発電の実験に取り組んでおられます。身近な場所にエネルギー問題の最先端を考える企業があることを知りました。



見学後は、会議室に戻ってお話を伺いました。

人口が減少する中、地域の大学や他企業様と連携して工場内の生産効率の向上における取り組みや、会社を知っていただく取り組みの一環として、会社見学やインターンシップに力を入れておられることも知りました。

「大学とも協定を結んで地域経済と自社の持続発展の可能性を考えています。若い皆さんのアイデアにも期待していますよ!」とエールをいただきました。

株式会社石橋製作所のみなさま、ありがとうございました。

また、株式会社ホームランシステムズ様では、会社内の設備見学や、取り組みへのアドバイスをいただきました。

株式会社ホームランシステムズ様は病院や高齢者施設を中心に給食を提供している給食委託を主業にされている企業様です。

普段は「物価高騰と栄養価の両立」を解決するために「高齢者向けの献立を立ててみよう」というテーマで活動をしている生徒たちが当日の企業訪問に参加してくれました。



まず見学したのは、食材を一時保管して各施設に配送する物流センターです。

部屋ごとに温度が厳密に管理されていて、生徒たちは興味津々。

「何社分の食材が入るんですか?」「どんな食材を扱っていますか?」など、次々と質問が飛び交い、自分たちの献立づくりに活かそうと、熱心にメモを取る姿が見られました。



続いて向かったのは、会社の心臓部であるセントラルキッチンです。
衛生管理が徹底されていて、クリーンルームで身を清めなければ入れないほどの厳重さに、生徒たちも少し緊張した面持ちでした。



毎日多くの食材が、このセントラルキッチンで調理され、物流センターに移送後、商品として各事業所さんに配送される仕組みです。



高価な検査機や、処理設備が完備されており、生徒たちもそばを通る際には緊張したようです。



見学の最後は、管理栄養士の方々から、生徒たちが事前に作成した献立へのフィードバックをいただく時間です。

事前課題として、献立製作用のパソコンを貸して頂いており、そこで立てた献立の栄養価や、バランス等について、ご意見を伺いました。

「この献立はとても栄養価が高いけれど、仕入れの予算を少しオーバーしてしまうね。こういう食材で代用すると、コストを抑えながら栄養バランスを保つことができるよ」プロならではの具体的なアドバイスに、生徒たちは真剣な表情で食い入るように聞き入っていました。

ユーモアを交えながら、お話をしていただき、生徒たちも有意義な時間を過ごせたと思います。

株式会社石橋製作所のみなさま、株式会社ホームランシステムズの皆様、貴重な学びの機会をありがとうございました。

今回の経験を活かして、探究活動をさらに深めていきたいと思っています。